

[A] 殖産興業・文明開化

①政府の政策目標(スローガン)

富国強兵 (国の経済力発展と軍事力の強化)
殖産興業 (資本主義・近代産業の育成)
文明開化 (西洋文明の積極的な移入)

②官庁の設置

1870年 工部省 設置 (工部卿=伊藤博文)

1885年 廃止 鉄道・電信・鉱山などの鉱工業部門を管轄
→のち、鉄道・郵便・電信は逓信省が管轄

1873年 内務省 設置 (内務卿=大久保利通)

農業・商業部門と警察・地方行政を管轄
内務省=警察・地方行政・殖産興業を担当

のち、殖産興業は農商務省(1881)が担当

③官営模範工場 (各地に設立された政府直営の工場)

ex. **富岡製糸場** (群馬県に開設された製糸工場)

(1) フランスの製糸技術を導入

(2) プリュナ (フランス人技師) が指導

↳ 御雇い外国人の一人

(3) 女工に土族の子女を集め、1872年に操業開始

→体験記和田(横田)英『富岡日記』(1913)

④赤字の官営事業の払下げ (軍需工場を除く)

1880年 工場払下げ概則 制定 (工場の払い下げ進まず) = 大隈重信 大蔵卿時

条件が厳しすぎた

1884年 工場払下げ概則 廃止 (工場の払い下げ本格化) = 松方正義 大蔵卿時

	官営工場・官営鉱山	補 足
軍 事	東京砲兵工廠 大阪砲兵工廠 横須賀造船所 兵庫造船所 長崎造船所	旧幕府の関口製作所を継承した兵器製造工場 旧幕府の長崎製鉄所を継承した兵器製造工場 旧幕府の横須賀製鉄所を継承した造船所 政府→ <u>川崎正蔵</u> に払下げ 政府→ <u>三菱</u> に払下げ
鉱 山	佐渡金山 (新潟) 生野銀山 (兵庫) 高島炭鉱 (長崎) 院内銀山 (秋田) 阿仁銀山 (秋田) 阿仁銅山 (秋田) 足尾銅山 (栃木) 三池炭鉱 (福岡)	政府→三菱に払下げ 政府→三菱に払下げ 政府→三菱に払下げ (はじめ <u>後藤象二郎</u> に払下げ) 政府→ <u>古河市兵衛</u> に払下げ 政府→ <u>古河市兵衛</u> に払下げ 政府→ <u>古河市兵衛</u> に払下げ 政府→ <u>三井</u> に払下げ (はじめ <u>佐々木八郎</u> に払下げ)
そ の 他	富岡製糸場 (群馬) 新町紡績所 (群馬) 深川セメント製造所 (東京) 三田育種場 (東京) 駒場農学校 (東京) 千住製絨所 (東京)	政府→三井に払下げ 政府→三井に払下げ 政府→ <u>浅野総一郎</u> に払下げ 優良種苗の育成・実験農場→のち <u>木村莊平</u> に払下げ 内藤新館に設立した農業教育学校→のち <u>東大農学部</u> 軍服材料などのラシャを製造→のち <u>陸軍省</u> に移管

	通 信 ・ 交 通	文 明 開 化
通 信	1869年 電信開通 (東京～横浜間) 電信=電報のこと ★のち長崎～北海道間で延長(1874) 1871年 海底電線開通 (長崎～上海間) 海外との電報 ★電話の輸入は1877年(19世紀に輸入されている) 1871年 郵便制度開始 (東京～大阪間) 江戸時代の <u>前島密</u> (郵便頭) の建議 飛脚制度に代わる →全国均一料金制の採用(1873) ★万国郵便連合 (世界的な郵便組織) に加盟(1877)	1868年 神仏分離(判然)令 (神仏習合(混淆)を禁止した法令) → 廃仏毀釈 (仏教排斥運動) が激化 (→仏教衰退) ★ 島地黙雷 (浄土真宗僧)・ 井上円了 (哲学館創立) が復興努力 1870年 大教宣布の詔 (神道国教化の推進を表明) ↳ 後の東洋大 宣教師による神道国教化の推進→仏教勢力の抵抗などで失敗 — 〔文明開化 (欧米列強の文明・風俗・慣習を取入れる)— ①衣……散髪脱刀令 (1871年に散髪・脱刀・洋服を自由化) <u>ざんぎり頭</u> ・洋服が軍隊・官吏・巡査から民間に広まる ★「ざんぎり頭をたたてみれば文明開化の音がする」 ②食…… 牛鍋の流行 ex. 坂名垣魯文 「 安愚楽鍋 」 ③住…… 煉瓦造の洋風建築 (東京の銀座通り) ★銀座通りを 人力車 ・鉄道馬車 (のち電車) が走り、 街路に ガス灯 (のち電灯) が灯る (最初は横浜居留地) ★一般家庭では行灯→石油ランプが使用され始める 電灯が使用されるのは大正時代
交 通	1872年 鉄道開通 (新橋～横浜間) (陸蒸気と呼ばれる) ★ モレル (英人) の指導のもと、 イギリス の技術と資金を導入 1874年 鉄道開通 (大阪～神戸間) =開港場と大都市を結ぶ ★東海道本線全通(1889) 東京～神戸間 — 〔海運業(民間)] — 1873年 三菱(会社) (土佐出身の政商 岩崎弥太郎 が設立) ↓ 九十九商会(1870)→三菱商会(1873)→三菱汽船会社(1875) 1885年 日本郵船会社 (三菱汽船会社と共同運輸会社が合併) 三菱系 三井系	1872年 太陽暦 の採用 (→1日24時間・1週間7日・日曜休日制) 太陰太陽暦 (旧暦) による1872(明治5)年12月3日を 太陽暦 (新暦) による1873(明治6)年1月1日とする ★農村では依然として太陰太陽暦 (旧暦) を使用 1873年 祝祭日の制定 紀元節 =2月11日 (神話上の神武天皇即位日) 天長節 =11月3日 (明治天皇の誕生日) ★ 端午 の節句などの五節供・年中行事は祝祭日とされず
展 覧 会	1877年 第一回内国勸業博覧会 殖産興業の目的で、内務省が <u>上野公園</u> で主催した国内の博覧会 第一回大会で ガラ紡 を発明した 臥雲辰政 が最高賞授与(P68へ) ★ 共進会 (全国各地で開かれた産業技術交流会)	